

② 防護具の着脱訓練、個人測定器の取り扱い実習

- 放射性物質防護機材の着脱実習
(反面マスク、タイベック、ゴム手袋、靴カバー)



28

③ 放射線の距離及びしゃへい効果の確認



距離による線量率の減衰確認実習

しゃへい効果の確認実習



29

④ 放射性物質の汚染検査、簡易除染



線源にマントルを使用した
ブラインド実習

人の汚染検査実習

物の汚染検査実習

簡易除染実習



30

目的及び到達目標

防護活動演習の概要

- ① 座学で学習した内容の復習
～座学における疑問点の解消～
- ② 参加者相互の情報交換
～参加者の役割の理解～

テーマ

- ① 内部被ばく、外部被ばくの防護方法
- ② 各段階での自分（自組織）の役割
（どうなったら、あなたは何をしますか。）
- ③ よりよい避難等（一時移転、屋内退避）の実施方法
（よりよい避難等を実施するにはどうしたらよいか。）

時間配分、班編成

- ・ 60分程度で検討する。（発表を含め、125分）
- ・ 1班：10名、各班にアドバイザーを1名配置。

31

防護活動演習



検討風景

発表風景



32

講義内容

① 放射線防護のために必要な基礎知識（35分程度）

- 放射線と放射能
- 被ばく形態
- 身の回りの放射線
- 放射線の人体への影響
- 放射性物質、放射線の放出形態及び被ばくの経路
- 被ばくの防護
- 被ばく線量の測定
- 放射線被ばくの管理

② 原子力災害対策指針の概要及び住民防護活動の流れと防護処置（40分程度）

- 地域データを基に原子力災害対策指針の概要、指針に基づいた業務行動における防護処置

33



(研修資料より抜粋)

①-2鹿児島県における原子力災害対策重点区域の範囲

《5km圏内》

PAZ

：予防的防護措置を準備する区域
対象地区

：薩摩川内市（住民数：約4,900人）

《5~30km圏内》

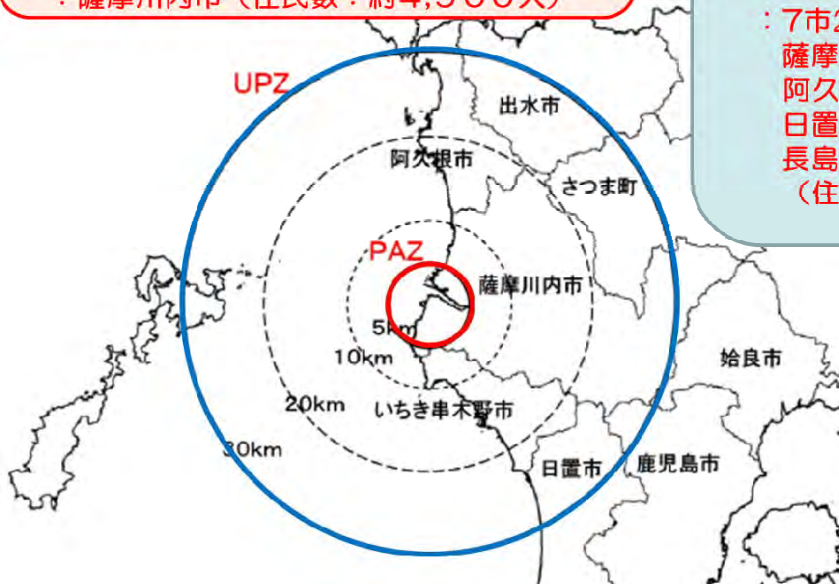
UPZ

：緊急時防護措置を準備する区域
対象地区

：7市2町

薩摩川内市、いちき串木野市、
阿久根市、鹿児島市、出水市、
日置市、始良市、さつま市、
長島町

（住民数：約21,000人）



(研修資料より抜粋)

【全面緊急事態】
 自家用車で避難できない住民、観光施設から避難する一時滞在者 合計約1,000人
バス 33台必要 ⇒ 薩摩川内市内バス会社、九電の保有車両

水引地区 2,757人
 滄浪地区 383人
 寄田地区 329人
 峰山地区 1,433人
 ※ 平成26年4月1日現在

全面緊急事態で必要となる輸送能力		
	車両台数	備考
薩摩川内市内のバス会社	31	薩摩川内市内のバス会社が保有する車両総数のうち、施設敷地緊急事態で使用する車両を除く、残りの車両を使用
九州電力が配備する車両	2	九州電力が確保する車両を使用 (施設敷地緊急事態要避難者の避難時に使用した車両を再利用)

4地区 ⇒ 鹿児島市内に避難
《避難方法》
 ①自家用車
 ②近所の方の自家用車に便乗
 ③集合場所からバス等

(研修資料より抜粋)

【環境状態】
 プルーム通過後は、放射性物質の沈着後、モニタリングの結果に基づき、一時避難等を実施。

【放射線防護】
 ・個人線量計を装着
 ・指示があれば 安定ヨウ素剤予防服用
 ・マスクの着用

【UPZ OIL2】
 ①集合場所で住民の方を乗せ、避難退域時検査場所へ
 ②避難退域時検査場所から避難所へ (この時は放射線防護必要なし)
 ●避難終了後、営業所へ帰還 (若しくは別の集合場所へ)

一時移転
 指示があれば 安定ヨウ素剤服用

スクリーニング 避難退域時検査
 ↓
 避難所 (P29参照)

原子力発電所

○IL2超

□ : 住民の行動

PAZ UPZ